

大阪府立大学 × 大阪市立大学

ニューテックフェア

2019

府大・市大の 研究成果から 新たな 可能性を 発見!

ニューテックフェアでは、大阪府立大学・大阪市立大学が、「エレクトロニクス・情報」「環境」「ヘルスケア」「マテリアル」といった分野における最新の研究成果を発表いたします。両大学の研究者と直接会話ができ、理解を深めていただけます。企業への支援体制も充実している両大学の研究成果を、ぜひご活用ください。

2019
12.10 13:00 入場
17:00 無料
火 入退場自由・要予約

基調講演 13:15-13:45
事前申込不要・当日先着順・無料

本能の設計図と無意識の生存戦略
—生物進化から生老病死を診る—

講師 健康科学研究所 所長 株式会社キリン堂ホールディングス 取締役 井上 正康 氏

※基調講演は事前のお申込みを受け付けておりません。
※参加希望者多数の場合は立ち見または参加できない場合もございますので、予めご了承ください。

大阪産業創造館4F

対象 技術・研究開発担当者

タイムスケジュールは裏面をご覧ください

●主催：大阪府立大学、大阪市立大学、大阪産業創造館（公益財団法人大阪産業局）●後援：近畿経済産業局、大阪府、大阪市、堺市
●協力：（国研）科学技術振興機構 / （地独）大阪産業技術研究所 / （地独）大阪府立環境農林水産総合研究所 / 大阪市立環境科学研究センター / 日本政策金融公庫

申込方法 お申込みはWEBサイトから >>> [サンソウカンホームページ](https://www.sansokan.jp/)の イベントNO.【29016】で検索

12/6 金
10:00
17:00
※開場 9:45

大阪産業技術研究所【ORIST 技術シーズ・成果発表会】

場 所 大阪産業創造館 3F・4F ※受付は3F 詳細・申込 <https://www.sansokan.jp/> ▶ イベントNO.【28700】で検索
主催：（地独）大阪産業技術研究所 / 大阪商工会議所 / 大阪産業創造館（（公財）大阪産業局）

入場
無料

発表内容に関する
お問い合わせ



大阪府立大学 研究推進本部 URA センター
TEL 072-254-9128 E-MAIL URA-center@ao.osakafu-u.ac.jp



大阪市立大学 学術・研究推進本部 URA センター
TEL 06-6605-3550 E-MAIL ura@ado.osaka-cu.ac.jp

お申込みに関する
お問い合わせ

大阪産業創造館 イベント・セミナー事務局 〒541-0053 大阪市中央区本町1-4-5 大阪産業創造館13階
●TEL:06-6264-9911 ●FAX:06-6264-9899 ●E-MAIL: ope@sansokan.jp ●受付時間：月～金 10:00～17:30（祝日除く）
●アクセス：Osaka Metro「堺筋本町駅」下車「中央線」1号出口「堺筋線」12号出口より各徒歩約5分

※お電話・メールでのお申込みはできません。お申込みはインターネットからお願いします。※要ユーザー登録（無料）※お申込みには大阪産業創造館のユーザー登録が必要です（無料）※お申込みいただくお客様の情報は、大阪府立大学と大阪市立大学と共有させていただきますので、ご了承の上お申込み下さい

ここから広がるビジネスチャンス
産創館
<https://www.sansokan.jp>

■プレゼンテーションプログラム

時間	内容	所属/職名	発表者
13:00	開 会		
13:05	大阪府立大学の産学官連携活動紹介	大阪府立大学 副学長 研究推進本部長	山手 丈至
13:10	大阪市立大学の産学官連携活動紹介	大阪市立大学 副学長 学術・研究推進本部長	櫻木 弘之
13:15	基調講演 本能の設計図と無意識の生存戦略 —生物進化から生老病死を診る—	健康科学研究所 所長 (株)キリン堂ホールディングス 取締役	井上 正康
13:45	1 複雑形状物の色彩・光沢・再帰の同時非接触測色システム	大阪市立大学 生活科学研究科 准教授	酒井 英樹
14:00	2 プラズマ複合プロセスを用いた排ガス処理技術	大阪府立大学 工学研究科 准教授	黒木 智之
14:15	3 ウェアラブルセンサとAIを用いた動作評価システムの開発	大阪市立大学 都市健康・スポーツ研究センター 講師	鈴木 雄太
14:30	4 IoT技術・AI技術からロボティクスへ	大阪府立大学工業高等専門学校 総合工学システム学科 教授	土井 智晴
14:45	5 特定小電力無線と環境センサを用いた見守りシステム	大阪市立大学 工学研究科 准教授	辻岡 哲夫
15:00	ポスターセッション ※休憩は適宜お取りください		
15:30	6 健康経営推進に向けた産学連携によるデータヘルス	大阪府立大学 看護学研究科 准教授	森本 明子
15:45	7 物理モデルを用いた機器の診断 —デジタルツインへの適用に向けて—	大阪市立大学 工学研究科 教授	川合 忠雄
16:00	8 不確実性を考慮したデータ自動分類技術の展開	大阪府立大学 工学研究科 助教	生方 誠希
16:15	9 周期的傾斜組成構造を有する新しい高強度めっき膜	大阪市立大学 工学研究科 教授	兼子 佳久
16:30	10 高精度なナノスケール細孔を有する有機無機複合ナノシート	大阪府立大学 工学研究科 准教授	牧浦 理恵
16:45 16:50	閉 会 ※閉会後も技術相談可能		

ポスター展示・技術相談

■基調講演 13:15-13:45 事前申込不要・当日先着順・無料

本能の設計図と 無意識の生存戦略 —生物進化から生老病死を診る—



講師

健康科学研究所 所長
(株)キリン堂ホールディングス 取締役
腸内フローラ移植臨床研究会
FMTクリニック 院長

井上 正康 氏

<http://www.inouemasayasu.net>

人体は約37兆個の細胞と数百兆個の共生微生物が構築するハイブリッドな超生命体であり、両者の共生関係が生老病死の基盤を構築している。第2次大戦後に地球人口が激増して先進国では寿命が著明に延長した。この時期に“21世紀病”と呼ばれる肥満、糖尿病、花粉症などの炎症性アレルギー疾患や自閉症などのメンタル障害も激増してきた。分子解析技術の飛躍的進歩により、人の腸内に共生する細菌群のバランス異常が“21世紀病”の原因であり、健康人の腸内細菌を移植することにより病態が劇的に改善される事が明らかになった。古くよりヒトは喜怒哀楽を“腹の虫”として表現してきたが、脳の無意識世界も腸内細菌が支配している事が判明しつつある。本講演では生老病死における共生の意味論と現代の社会病理を進化医学的に論ずる。